



2019年1月30日

各 位

会 社 名 日本電気硝子株式会社
代 表 者 名 社 長 松本 元春
コ ー ド 番 号 5214 東証第一部
問 合 せ 先 取締役常務執行役員 津田 幸一
TEL 077 (537) 1700

平成30年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成30年2月5日に公表しました平成30年12月期通期（平成30年1月1日～12月31日）連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成30年12月期通期連結業績予想の修正（平成30年1月1日～12月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|----------------|---------------|---------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想（A） | 百万円 300,000 | 百万円 31,000 | 百万円 29,000 | 百万円 20,000 | 円 銭 201.07 |
| 今回修正予想（B） | 300,300 | 24,800 | 19,800 | 15,100 | 153.24 |
| 増減額（B－A） | 300 | △6,200 | △9,200 | △4,900 | － |
| 増減率（％） | 0.1 | △20.0 | △31.7 | △24.5 | － |
| （ご参考）前期実績 （平成29年12月期） | 282,447 | 32,201 | 34,130 | 27,184 | 273.29 |

（注）当社は平成29年7月1日付で、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。これに伴い、1株当たり当期純利益は、前期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しています。

2. 修正の理由

売上高は、主としてガラス繊維事業の拡大や液晶ディスプレイ用基板ガラスの堅調な出荷により、概ね想定どおりに進捗しています。一方、損益面では、為替差損や原燃料価格の上昇に加え、米国ガラス繊維事業拠点における生産性が想定に届かず、当初の予想を下回る見込みです。

つきましては、平成30年12月期通期の連結業績予想を上表のとおり修正いたします。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によりこれら予想値とは異なる可能性があります。

以 上